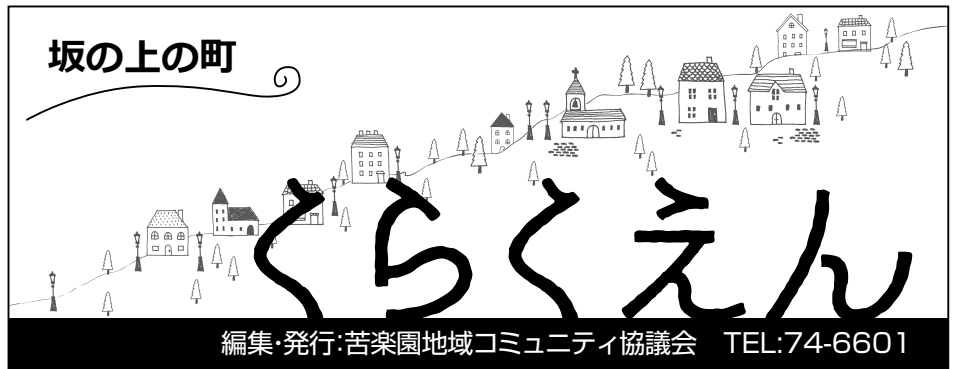




もも たに しゅう じ
桃谷 修司さん

昭和42(1967)年生まれ
大分県別府市出身
平成6(1994)年から西宮市民に
平成12年から 苦楽園に居住
令和2(2020)年から、コミュニティ交通に向けた活動開始
●問い合わせは 電話 0798-78-5191



まちの宝人 — 桃谷 修司さん

みんなの期待を乗せて 発車します。

苦楽園地区コミュニティ交通(コミュニティバス)の試験運行が、10月14日からスタートしています。その準備協議会代表の桃谷修司さんにインタビューしました。

——コミュニティ交通とは？

駅やバス停から一定以上離れており、高低差が大きく、高齢者などが徒歩や自転車で移動することが困難な地域を「公共交通不便地域」と呼びます。このような地域で、地域住民が主体的に取り組む乗合交通(コミュニティ交通)

——特に苦労した点は？

活動を開始してから今回の試験運行まで、約6年かかりました。まず、コロナ禍で社会全体の活動が停滞したこと。そしてその後、運送業界が急激な人手不足になったことが理由です。ドライバー不足と諸経費の値上がりで、運行会社

社がなかなか決まりませんでした。その他、たくさん課題があったのですが、準備委員会のメンバーでさまざまな意見を出し合い、一つずつクリアしてきました。

——準備協議会の他のメンバーは？

現在、5人で活動しています。私以外は全員女性で、仕



クラレンジャーのメンバー
・桃谷修司さん・角田邦子さん
・岡田泰美さん・横山あづささん
・清水裕子さん

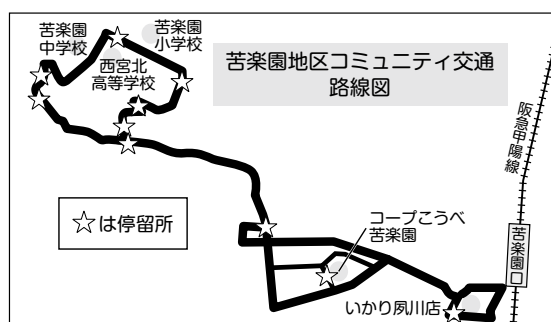
事に子育て、家庭ととても忙しい中で時間をつくって参加しています。私自身は、新規事業立ち上げに長く関わっています。いろいろな分野の5人が集まったことが大きなパワーになったと思っています。みんなで「クラレンジャー(苦楽園のグリーンジャー)」と呼んでいます。(笑)

——試験運行のあとは？

今回の試験運行は、令和8年1月16日までを予定しています。そのデータを分析し、採算性のめどが立てば、改善した計画で2回目の試験運行をするつもりです。バス停やスーパに加えて、小・中・高校と4校が沿線にあるので、目的地の多さが利用を促進することを期待しています。

——今後の課題は？

走り出すことはできた、次はどうやって続けていけるかだと思います。今のメン



桃谷さんの説得力ある発言に、苦楽園地域の未来は明るく走り出すと思いました。

「こうだったらいいな」「こういうふうにならないかな」と、未来を一緒に実現していける人に参加してもらいたいと思っています。もし、コースや停留所に関する要望があれば、遠慮せずに申し出てください。

力作が勢ぞろいの「夏休み作品展」

苦楽園小学校

苦楽園小学校では、夏休みの宿題として取り組んだ自由研究や工作を展示する「夏休み作品展」が、9月1、2日に行われました。

会場には力作がずらりと並び、鮮やかな色彩や海を思わせる涼やかなモチーフなど、夏らしい作品が目を引きました。理科の実験を記録した研究ノート、細かい部品を組み合わせて作られた工作、身近な自然を題材にした観察日記など、一つ一つの作品に子どもたちの個性と努力が感じられます。今年は2025大阪・関西万博を題材にした作品も見られ、世界や未来について考えるきっかけにもなりました。



力強い高学年の展示



カラフルな工作がズラリ!

海の生き物たち



刺し子刺しゅう

訪れた保護者からは「こんな工夫をしているのね」「発想がとても面白い」と感心の声が多く聞かれました。

夏休み作品展は、子どもたちにとって学びの成果を確かめ合う貴重な時間となりました。作品に込めた思いやひらめきは、次の学びへとつながり、これからの学校生活をより豊かなものにしてくれることでしょう。

僕らの5泊6日長野への旅

ボーイスカウト西宮第13団

カブスカウト(小3～5年生)になると、夏季はほぼ新潟県寄りの長野県小谷村で、5泊6日をみんなで過ごします。バスで移動し、小屋近くで下車。そこから30分ほど歩いて小屋を目指し、荷物を運びます。初参加の3年生にとって重たい荷物を担いで30分歩くのは負担になりますが、お互い励まし合って無事に山小屋へ到着。8月の平均気温が20度ということもあってとても過ごしやすく、おいしいご飯を仲間と楽しく食べるのが最高です。

を歌いながらハイキング。残雪のアルプスの山々を見渡すことができ、感激する場面もありました。

夜には肝試しをしたり、今にも降ってきそうな星が輝く空を見ながら天体観測をしたり、最終日には夙川第3団と出店を出し合って夏祭りを開催。キャンプファイアをしながら、5日間共に過ごした貴重な時間を分かち合いました。親元を離れて仲間と共に行動し、大自然に魅了され、生き生きとした表情で少しくましくなっていて無事に帰宅しました。



ぼくらのかやぶき屋根の小屋

屋は白馬の大雪渓へハイキングへ行き、大自然の迫力に圧倒され思わず「わあー」と声が漏れてしまう子どもたち。別の日には、越後・糸魚川と信州・松本を結ぶ「塩の道」という生活道を、時折歌



涼しい～♪ というよりも寒かった大雪渓

一緒に活動しませんか。体験受け付け中です。

詳しくは、下記の二次元コードから。



時間/曜日	月	火	水	木	金	土
8:30	○	○	○	△	○	○
12:00	○	○	○	△	○	○
15:45	○	○	○	△	○	○
19:00	○	○	○	△	○	○

休診/木曜・土曜午後・日曜・祝祭日

(電話) 0798-72-4601(代)
https://www.sonodanaika.com

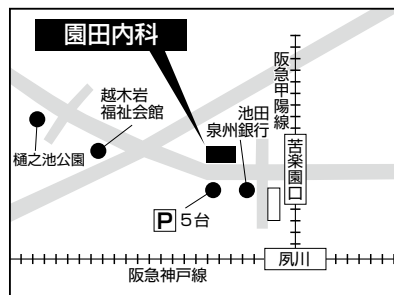
内科 胃腸科 循環器科



医療法人社団

園田内科

西宮市南越木岩町14-7
阪急苦楽園口駅 西側徒歩約3分



第31回KURACHUフォーラム ―苦楽園中から変えるみんなの未来―



挨拶推進隊
バッチ

苦楽園中学校学校運営協議会主催のKURACHUフォーラムが、9月4日に苦楽園中学校体育館で開催され、生徒、保護者、地域の人で、世代を超えた意見交換が行われました。テーマは「KURACHUから広げるあいさつのわ」。

生徒会本部を含む27人の生徒と、保護者と地域の人6人が議論に参加しました。

日頃から生徒会本部を中心に、早朝のあいさつ運動、あいさつチャート、あいさつ推進隊など、さまざまな取り組みを行っている苦楽園中学校。本フォーラムでは、地域、学校、家庭で、どのようにすればあいさつが広がるのかに焦点を当てて、議論が進められました。

「地域では、まずは身近な人にあいさつすることで、その周りの人々にもあいさつが広がっていくのでは」との意見があり、「地域の行事に積極的に参加して、地域の人々との交流を増やし、笑顔で元気にあいさつしていこう」と

いう中学生からの意気込みも聞かれました。

学校生活では、「上の学年から積極的にあいさつを広げていきたい」「まずは先生にしっかりとあいさつしていきたい」との声。家庭の中では、「親は子どもの体調や機嫌を知るためにもあいさつしてほしい」「あいさつすることで、家庭がより安心できる場になる」など、新たな視点を含む多様な意見が上がりました。

生徒会作成の
ポスター



熱く飛び交う
多様な意見



映画を楽しむ

苦楽園子ども会

暑い夏の日差しが降り注ぐ8月24日、会員28人と希望したきようだい、保護者を合わせた41人で、阪急西宮ガーデンズ内にある映画館で『星つなぎのエリオ』を鑑賞しました。

一般の来場者よりも先に入って席に座り、ジュースとポップコーンが配られ、笑顔が絶えない子どもたち。映画が上映される前にジュースとポップコーンが勢いよくなくなる子や上映中に共感して涙ぐむ子がいたりさまざまな姿が見られました。

上映中はとても静かに鑑賞することができ、解散もスムーズでした。

次回は、神戸須磨シーワールドへ行く予定です。



熱心に鑑賞!

人形劇でみんな笑顔に♪

夙川宝プリスクール

夙川宝プリスクールでは、8月6日に人形劇団「クララテ」による人形劇が2作上演されました。『ねえとうさん』は、子熊と父さんのほっこり温かい話。自然の木を生かした舞台とクラシックギターの弾き語りの魅力の作品です。



お話とギターの演奏にもワクワク!

「だってだってのおばあさん」は、ある家に5歳のネコと98歳のおばあさんが住んでいて、ネコは、毎日おばあさんを魚つりに誘います。ひょこつと動物が出てくるシーンなどは、劇中も園児たちの楽しそうな笑い声があふれていました。

終了後は話に登場した人形を間近で見て、触らせてもらい、笑顔がいっぱいの園児たちでした。

越木岩センター

準備推進活動講座

●みんなでブラジル音楽の「ボサノヴァ」を聴こう

日時 11月15日(土)

13時30分～15時

場所 越木岩会館2階ホール

内容 1950年代後半に生まれた、サンバとジャズを融合した音楽を、ボーカル、ギター、フルート、パーカッションの4人組でお届けします。

定員 70人程度(申込不要)

●クリスマス・お正月を「寄せ植え」で飾りましょう

日時 12月20日(土)

13時30分～15時

場所 越木岩会館2階ホール

内容 初心者も楽しくできます。

講師 (有)赤木庭園

代表取締役 赤木 民男

定員 30人(申し込み先着順)

材料費 2,500円 当日持参

申込 12月8日(月)

9時から電話のみ
市・生涯学習企画課

(担当: 牧・鈴木)

電話: 0798・35・

3869

(平日9時～17時)

みんなで楽しむ夏の思い出 第44回苦楽園夏まつり



暑かったのでカキ氷も大人気

第44回苦楽園夏まつりが、7月19日に苦楽園小学校の校庭で開催されました。前々日の大雨がうそのような晴天の下、待ちきれない様子の子どもたちが門の前をウロウロ。15時の開場とともに場内へ駆け込みます。今年は協賛団体からの出店も増え、コーヒー、わたあめ、ホットドック、チキンなど、おいしそうな匂いが会場全体に漂いました。

中央のステージではダンスや太鼓、獅子舞、バトントワリング、軽音楽と、次々に魅力的な演目が披露されました。お楽しみ抽選会の発表タイムには、西宮市キャラクター「みやたん」と苦楽園小学校マスコット「くらっこ」も登場しました。1等はキッザニア甲子園の入場券。その他、各協賛店の商品券も盛りだくさんです。当選者は、ぜひ有効期限内に楽しんでください。



●第2回苦楽園夏まつり
「絵画コンクール」
採用絵画作品
作者：澤田ときさん



今年の絵画コンクールの様子



たくさんの人でにぎわう運動場



和太鼓の演奏に獅子舞も登場

しようか。
子どもが楽しむ、地域も楽しむ苦楽園夏まつり。皆さんの力が合わさってできています。

お気軽に 無料相談窓口にお電話下さい

内容証明

相続・遺言

国際結婚

各種許認可

契約書作成

アトラス行政書士法人

行政書士法人番号 第 2308101

〒662-0098

西宮市柏堂西町 14 番 25 号

9:00~17:00 土日祝休み

無料相談窓口



0120-005-185



アトラス行政書士法人

atlas-gyousei.com